

[著 書]

林千冬¹, 益加代子 (¹神戸市看護大学): 第4章 看護の提供者 B看護職の資格と養成にかかわる制度, C看護職者の就業状況と継続教育. 茂野香おる他: 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学① 看護学概論. 医学書院, 149-164, 2016.

藤野あゆみ, 最新老年看護学 第3版 第5章 心身の加齢変化と健康アセスメント B身体機能・構造の加齢変化と生活への影響 3運動器系 (骨・関節・筋・神経), 100-104, 日本看護協会出版会, 2016.

藤野あゆみ, 最新老年看護学 第3版 第5章 老年期に特有な健康障害と看護B主な健康障害と看護 14感染症, 209-213, 日本看護協会出版会, 2016.

深田順子: 臨床編 I 第1章②生活場面における観察, ③スクリーニング (2)スクリーニング質問紙. 才藤栄一, 植田耕一郎監修: 摂食嚥下リハビリテーション第3版, 医歯薬出版, 124-126, 127-128, 2016.

深田順子: 24. 質問紙. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会編; 日本摂食嚥下リハビリテーション学会e-ラーニング対応 第3分野 摂食嚥下障害の評価 Ver. 2, 医歯薬出版, 12-16, 2016.

服部淳子: エビデンスに基づく小児看護ケア関連図. 山口桂子, 柴邦代, 服部淳子編集: 中央法規出版, pp12-15, 25-26, 42-55, 195-197, 2016.

片岡由美子: Exploring English though Health Care Issues toward a Better Life, 英文ニュースで学ぶ健康とライフスタイル. 田中芳文編集: Unit3「尊厳死」か「自殺ほう助」か? —米国の終末期医療の側面, 講談社, pp13-18, 2016.

片岡由美子: 英文ニュースで学ぶ健康とライフスタイル, 教師用資料 (英文和訳・問題解答). 田中芳文編集: U3, 講談社, pp8-11, 2016.

百瀬由美子: 「フレイルハンドブック」ポケット版. 荒井秀典編集: ライフ・サイエンス出版, 37-39, 2016.

百瀬由美子: これからの在宅医療 —指針と実務, 監修: 大島伸一, 編集代表: 鳥羽研二, 第4章 阻害要因: ベッド確保, 病床連携, 医療サービス; 安心・安全で質の高い訪問看護活動を目指して, グリーンプレス, 175-182, 2016.

百瀬由美子: 老年看護学 編集: 水谷信子, 水野敏子, 會田信子, 三重野英子, 第4章 心身の加齢変化と健康アセスメント, 多角的・包括的な健康アセスメントの枠組みと方法, 日本看護協会出版会, 71-89, 2016.

百瀬由美子編集: 多職種で推進する口腔ケア, 三恵社, 2016.

岡本和士, 高山光尚¹ (¹国立健康・栄養研究所): 健康経営ははじめの一步, 学術研究出版, 2016.

柴邦代: エビデンスに基づく小児看護ケア関連図. 山口桂子, 柴邦代, 服部淳子編集: 中央法規出版, pp64-70, 72-79, 2016.

清水宣明：津波避難学 命が助かる行動の原則と地域ですすめる防災対策，すびか書房，1-224，2016.

下園美保子：第2部第4章1 在宅療養の実現を可能にした「個人技術」と「支援者として必要な技術」の構成要素に関する一考察—医療依存度の高い難病患者の一例から—，健康社会学研究会編集：事例分析でわかるヘルスプロモーションの「5つの活動」，ライフ出版，2016.

〔総 説〕

石光芙美子：チームアプローチを基盤にしたせん妄ケアの現状と課題，目白大学健康科学研究，第9号，29-36，2016.

岡田瑞恵¹，岡田悦政^(1Yms Laboratory)：終末糖化産物(AGEs)とAGEs受容体(RAGE)，愛知県立大学看護学部紀要，22：：9-16，2016.12

柳澤理子：国際保健医療分野における実践と研究，保健の科学，58(2)，99-103，2016.

〔原著・資料〕

水草百合江，山口桂子¹，服部淳子^(1日本福祉大学)：低出生体重児の母親に対して保育器が及ぼす影響，日本新生児看護学会誌，22(2)，10-17，2016.

藤野あゆみ，百瀬由美子，天木伸子，山本さやか¹，鎌倉やよい²^(1日本福祉大学，2日本赤十字豊田看護大学)：通所リハビリテーションの介護スタッフを対象にした器質的口腔ケアに関する教育的介入の効果，日本看護学会論文集 在宅看護，46，107-110，2016.

古田加代子，興水めぐみ¹，流石ゆり子²^(1滋賀医科大学医学部看護学科，2山梨県立大学看護学部)：転居高齢者の生活適応の経過に関連する要因—ライフ・ライン・メソッドを用いた検討—，愛知県立大学看護学部紀要，22:45-53，2016.

広瀬会里，生田美智子¹，田島ちなみ²，三浦なつ子²，小野薫²，森田恵美子³^(1椋山女学院大学，2公立陶生病院，3公立瀬戸旭専門学校)：アクションリサーチによる病棟看護師の終末期がん患者への退院支援，愛知県立大学看護学部紀要，22，55-63，2016.

河津芳子¹，風間真理¹，水野千奈津¹，石光芙美子^(1目白大学)：台湾中山醫學大學護理系と看護学部との学生間国際交流システムの構築と課題，目白大学健康科学研究，第9号，77-84，2016.

笹川愛奈¹，志村千鶴子²，神谷摂子^(1福井県済生会病院，2創価大学看護学部)：妊婦における熟練助産師の腹部触診技能，母性衛生，57(2)，376-384，2016.7.

神谷摂子，汲田明美，岡本和士，清水宣明，小松万喜子：子育て過程にある母親の予防接種に関する情報入手状況と困難の現状，愛知県立大学看護学部紀要，22，37-44，2016.12.

Katahira Masahito, Ogata Hidetada^(1Department of Endocrinology and Diabetes, Ichinomiya Municipal Hospital):

Thyroglobulin Autoantibodies are Associated with Refractoriness to Antithyroid Drug Treatment of Graves' Disease. *Intern Med*, 55 (12), 1519–1524, 2016.

菅裕香¹, 小松万喜子¹ (前愛知県立大学看護学部) : 看護師の死生観に影響を及ぼす臨床場面と看護実践の変化. *死の臨床*, 39(1), 159–165, 2016.

汲田明美, 山口桂子¹ (日本福祉大学) : 思春期患児の成長過程における母子の相互作用により, 慢性疾患患児の親が子離れを余儀なくされるプロセス. *思春期学*, Vol. 34 No. 3, 335–345, 2016.

Nakagaki A^{1,2}, Inami T³, Minoura T, Baba R⁴, Iwase S², Sato M² (1School of Nursing/Graduate School of Nursing, Nagoya City University, Nagoya, Japan. 2Department of Physiology, Aichi Medical University, Nagakute, Japan. 3Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Tokorozawa, Japan. 4Department of Cardiology, Aichi Children's Health and Medical Centre, Obu, Japan.) Differences in autonomic neural activity during exercise between the second and third trimesters of pregnancy. *J Obstet Gynaecol Res*, 42(8) 951–959, 2016. doi: 10.1111/jog.12990

百瀬由美子 : 特集 : 「認知症高齢者の終末期ケア—看護師の役割とスタッフ教育」, 認知症高齢者の終末期ケアの現状と看護師の役割. *臨床老年看護* 23(1), 74–79, 2016.

山本さやか¹, 百瀬由美子, 天木伸子, 藤野あゆみ (日本福祉大学) : 訪問看護師の研修参加状況と教育ニーズ. *日本看護学会論文集 : 在宅看護*, 46, 99–102, 2016.

大林 実菜¹, 百瀬由美子 (人間環境大学) : 高齢慢性心不全患者のセルフケア評価尺度の開発. *老年看護学* 21(1), 10–18, 2016.

Shiho Ikemata¹, Yumiko Momose (1椋山女学園大学) : Effects of a progressive muscle relaxation intervention on dementia symptoms, activities of daily living, and immune function in group home residents with dementia in Japan. Version of Record online: 3 OCT 2016 DOI: 10.1111/jjns.12147

中戸川早苗, 眞嶋朋子¹, 岩崎弥生¹ (千葉大学看護学研究科) : 統合失調症をもつ人の就労と生活との調和の構築過程. *千葉看護学会誌*, 第22巻 (1) : 1–11, 2016.

内村栞¹, 西尾亜理砂, 小松万喜子 (名古屋第一赤十字病院) : 脳死状態における臓器提供に対する大学生の意識と意思表示の実態と関連要因—看護学生と非医療系学生の比較において—. *死の臨床*, 39(1), 146–152, 2016.

西脇可織, 片岡純 : ホスピス・緩和ケア病棟の認知症とがんを併せ持つ患者の看護における困難と対処過程. *日本がん看護学会誌*, 30(2), 53–62, 2016.

Mizue Okada¹, Yoshinori Okada (1Yms Laboratory) : Potential Properties of Plant Sprout Extracts on Amyloid β . *Biochemistry research international* 2016 9347468 2016

Yoshinori Okada, Mizue Okada¹ (1Yms Laboratory) : In vitro screening on amyloid beta modulation of aqueous extracts from plant seeds. *Journal of pharmacy & bioallied sciences* 8(2) 141–145 2016.4

Kamitani H¹, Umegaki H¹, Okamoto K, Kanda S¹, Asai A¹, Maeda K¹, Nomura H¹, Shimojima T¹, Suzuki Y¹, Ohshima H², Kuzuya M¹ (¹名古屋大学医学部老年科, ²国立長寿センター). Development and validation of a new quality of life scale for patients receiving home-based medical care: The Observational Study of Nagoya Elderly with Home Medical Care. *Geriatr Gerontol Int*. 2016 (in print).

Mitoku K¹, Masaki N², Ogata Y³, Okamoto K (1人間環境大学, 2日本赤十字広島看護大学, 3福岡県立大学). Vision and hearing impairments, cognitive impairment and mortality among long-term care recipients: a population-based cohort study. *BMC Geriatr*; Published online 2016 May 27. doi: 10.1186/s12877-016-0286-26.

鬼塚知里, 柳澤理子, 古田加代子, 杉山希美:愛知県立大学における保健師養成課程の大学院化に関するニーズ調査. 愛知県立大学看護学部紀要, 22 : 73-78, 2016.

清水宣明:地域の保育園・幼稚園はインフルエンザ流行にどのように向き合っているか. *インフルエンザ* 17(1) : 47-52, 2016.

清水宣明:地域末端身の丈のインフルエンザ対策を育てよう. *インフルエンザ*, 17(2) : 65-69, 2016.

三尾亜喜代¹ (¹岐阜大学), 曾田陽子, 小松万喜子:臨地実習で看護学生が注意を向ける看護師の行動と見習いたくないと認識する行動. *日本看護学教育学会誌*, 26(1), 43-54, 2016.

勝田真由美¹, 戸田由美子, 鈴木香苗¹, 山崎歩¹, 山本加奈子¹, 眞崎直子¹ (¹日本赤十字広島看護大学):4年制大学卒業生による在学中のOSCEの効果と課題—入職1年目の看護師のグループインタビューより—. *日本赤十字広島看護大学紀要*, 16, 47-55, 2016.

中村もとゑ¹, 渡邊聡美¹, 戸田由美子, 笹本美佐¹, 中信利恵子¹, 山崎歩¹, 山本加奈子¹, 鈴木香苗¹, 松原みゆき¹, 川西美佐¹, 眞崎直子¹ (¹日本赤十字広島看護大学):卒業前OSCEを通して学生が認識した自己の成長と課題. *日本赤十字広島看護大学紀要*, 16, 67-76, 2016.

元木麻衣子¹, 柳澤理子, 山口桂子² (¹トーエネック, ²日本福祉大学):在日ブラジル人の特別な保健医療ニーズを持つ児(CSHCN)の保健医療サービスへのアクセスと母親の育児ストレス. *国際保健医療*, 31(2), 99-111, 2016.

藤井かしこ¹, 柳澤理子 (¹訪問看護ステーション太陽):訪問看護師が行う在宅リハビリテーションに関する研究動向. *日本在宅看護学会誌*, 5(1), 148-157, 2016.

Hidemi Hashimoto¹, Satoko Yanagisawa (¹Doshisha Women's College of Liberal Arts). Development of health literacy scale among Brazilian mothers in Japan. *Health Promotion International*, 1-7, 2016. doi: 10.1093/heapro/daw040

Kyoko Koto-Shimada¹, Satoko Yanagisawa, Puangrat Boonyanurak², Noriko Fujita³ (¹JICA Cambodia, ²Burapha University, ³National Centre for Global Health and Medicine): Building the capacity of nursing professionals in Cambodia: Insights from a bridging programme for faculty development. *International Journal of Nursing Practice*, 22(Suppl. 1), 22-30, 2016.

島上祐樹¹, 堀場隆広¹, 田中利幸¹, 宮本晃吉¹, 榎堀優², 間瀬健二², 川部勤³, 清水卓也⁴, 柳澤理子, 水野寛隆⁵, 鈴木陽久⁵ (¹尾張繊維技術センター, ²名古屋大学大学院情報科学研究科, ³名古屋大学大学院医学系研究科, ⁴中京大学スポーツ科学部, ⁵株式会社植屋): 圧縮または伸縮を検知できる布製のセンサを用いた生体計測システムの開発. あいち産業科学技術総合センター研究報告, 5, 122-125, 2016.

Kenji Ina¹, Ryuichi Furuta¹, Takae Kataoka², Hiroko Ina³, Masahiko Yoneda (¹Department of Medical Oncology, ²Department of Clinical Oncology, Nagoya Memorial Hospital; ³School of Nursing and Health, Aichi Prefectural University): Intravenous administration of lentinan in combination with chemotherapy for gastric cancer. *Medical Sciences*. 6(12): 710-714, 2016.

Hiroshi Yamada¹, Masahiko Yoneda, Masahiko Goshō², Tomohiro Kato¹, Masahiro Zako¹ (¹Department of Ophthalmology, Aichi Medical University; ²Department of Clinical Trial and Clinical Epidemiology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba): Bimatoprost, latanoprost, and tafluprost induce differential expression of matrix metalloproteinases and tissue inhibitor of metalloproteinases. *BMC Ophthalmology* 2016. in press.

Yoshiko Takahashi¹, Tetsuya Nemoto², Fumihiko Mizokami³, Katsunori Furuta^{3,4}, Yusuke Murasawa², Masahiko Yoneda, Zenzo Isogai⁵ (¹Department of Nursing & Health, School of Nursing & Health, Aichi Prefectural University; ²Department of Gerontechnology, ³Department of Pharmacy, ⁴Department of Clinical Research and Development, ⁵Division of Dermatology and Connective Tissue Medicine, Department of Advanced Medicine, National Center for Geriatrics and Gerontology): A New Concept: 'Relative Position between the External Force and the Bony Prominence' Explains Location-Specific Occurrence of Superficial Injury over an Undermining Lesion. *Journal of Tissue Viability* 2016. in press.

新井直子¹, 米田雅彦 (¹帝京大学医療技術学部看護学科): 褥瘡アセスメントツール開発に向けた基礎研究 ―生体高分子マーカーの活用を目指して―. *日本看護科学学会誌*, 36: 138-146, 2016.

山田浩雅, 中戸川早苗, 糟谷久美子, 岩瀬信夫. メンタルヘルスの早期教育に対する当事者家族の望み. *愛知県立大学看護学部紀要*, 22: 17-26, 2016.

[その他の出版物]

天木伸子: 認知症高齢者の終末期ケア―看護師の役割とスタッフ教育―. *臨床老年看護*, 日総研, 90-94, 2016.

藤野あゆみ: 認知症高齢者の終末期ケア 看護師の役割とスタッフ教育 認知症高齢者に対する倫理的側面～代理意思決定のあり方～, *臨床老年看護*, 23 (5), 87-90, 2016.

平野明美: 看護師満点獲得! 国試状況設定完全予想問題2016年版, 状況設定予想問題・状況設定1. 大津廣子, 小松万喜子編著: 看護師国試状況設定完全予想問題集, 成美堂出版, ②-1, 12, 2016.

汲田明美: 1型糖尿病, 全身性エリテマトーデス (SLE), 若年性特発性関節炎 (JIA), コラム (1型糖尿病: カーボカウント, SLEのメカニズムに関連する免疫システム, 知っておきたい思春期SLE患者の状況と看護, JIAの在宅自己注射療法). 山口桂子¹ (¹日本福祉大学), 柴邦代, 服部淳子編著: エビデンスに基づく小児看護ケア関連図, 中央法規出版株式会社, 96-110, 158-167, 172-183, 112-113, 168-169, 170-171, 184-185, 2016.

荻あや子：看護学生の化粧の現状と認識に関する研究. コスメトロジー研究振興財団 研究業績 中間報告集. 25, 175-184, 2016.

岡田悦政：食用植物種子は時計遺伝子発現を制御するか？ 一食による新たな疾病予防への挑戦— 2015年度科学研究費補助金報告書2016.5.

下園美保子：プログラム評価の概論及び方法論—精神科デイケア&アウトリーチ統合化プログラムを題材に—, 健康社会学研究会ニューズレター No. 78, 2016.

吉岡幸子¹, 森田展彰², 岸恵美子³, 小宮山恵美⁴, 柴田亜希¹, 上野公子⁵, 麻生保子⁵, 野尻由香⁵, 望月由紀子⁵, 下園美保子, 松山真知子⁶ (¹埼玉県立大学, ²筑波大学, ³東邦大学, ⁴東京都北区役所, ⁵帝京大学, ⁶元筑波大学特別研究員):映像教材 (DVD)開発 介護のABC—ゆとりをもって介護するためのコミュニケーションのコツ—, 科研挑戦的萌芽研究「在宅における養護者の高齢者虐待行為に対する介入・予防プログラムの開発」研究代表者 岸恵美子 (東邦大学)(課題番号25671027), 2016.

下園美保子:第Ⅱ編研究成果 4章 養護者プログラム (介護セミナー)の実施, 5章 養護者支援プログラム実施評価, 6章 養護者支援プログラム実施評価票. 「在宅における養護者の高齢者虐待行為に対する介入・予防プログラムの開発」研究成果報告書p45-82 科研挑戦的萌芽研究 研究代表者 岸恵美子 (東邦大)(課題番号25671027), 2016.

[学会発表]

Nobuko Amaki, Yumiko Momose, Ayumi Fujino: Factors which Influence the Status of Implementation of in-service Education for Nurses Caring for Patients with Dementia. 31th International Conference of Alzheimer's Disease International (Hungary), 2016.4.

天木伸子, 百瀬由美子, 藤野あゆみ:院内教育における認知症ケア研修の開催と参加状況および教育ニーズ. 第29回日本看護福祉学会学術大会 (奈良県), 2016.6.

天草百合江, 山口桂子¹, 服部淳子 (¹日本福祉大学):保育器で過ごす子どもと母親の距離感が近づいた出来事—自由記述の分析より—. 第26回日本小児看護学会学術集会 (別府市), 2016.7.

川島良子¹, 馬場美幸 (¹新潟県立看護大学):臨地実習において学生が教員に承認されたと感じた内容とその理由. 第36回日本看護科学学会学術集会 (東京都千代田区), 2016.12.

楠由祐子¹, 益加代子 (¹刈谷豊田総合病院):シングルマザーの准看護学生の准看護師養成所への入学動機に関する研究. 全国准看護師研究会第23回総会・看護研究会 (東京都), 2016.3.

藤野あゆみ, 山本さやか¹, 田中和奈², 百瀬由美子 (¹日本福祉大学, ²奈良学園大学):介護保険施設における認知症高齢者ケアに関するメタ統合—看護職および介護職が体験する困難— (第一報). 第29回日本看護福祉学会学術大会 (奈良県北葛城郡広陵町), 2016.6.

田中和奈¹, 山本さやか², 藤野あゆみ, 百瀬由美子 (¹奈良学園大学, ²日本福祉大学):介護保険施設における認知

- 症高齢者ケアに関するメタ統合—看護職および介護職が体験する困難に対する対応—（第二報）. 第29回日本看護福祉学会学術大会（奈良県北葛城郡広陵町），2016.6.
- 深田順子，八重樫裕¹，北川功二¹，鎌倉やよい²，西岡裕子，青山寿昭¹，藤井博子¹，安部哲也³（¹愛知県がんセンター中央病院看護部，²日本赤十字豊田看護大学看護学部，³愛知県がんセンター中央病院消化器外科）：食道がん術後患者に対するセルフコントロールプログラム開発の効果：嚥下機能・栄養状態・QOLからの評価. 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会（新潟市），2016.9.
- 鎌倉やよい¹，湯海鵬²，石垣享³，深田順子，坂上貴之⁴（¹日本赤十字豊田看護大学看護学部，²愛知県立大学教育福祉学部，³愛知県立芸術大学美術学部，⁴慶應義塾大学文学部）：嚥下・呼吸機能向上するための体操プログラムが高齢者へ与える身体負荷の検討. 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会（新潟市），2016.9.
- 安達亜希¹，深田順子，鎌倉やよい¹（¹日本赤十字豊田看護大学看護学部）：嚥下が非侵襲的陽圧換気療法（NPPV）施行中の呼吸に及ぼす影響. 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会（新潟市），2016.9.
- 大山末美¹，深田順子，鎌倉やよい²（¹奈良学園大学保健医療学部，²日本赤十字豊田看護大学看護学部）：がん患者の抑うつを早期発見するためのアセスメントツール開発. 第36回日本看護科学学会学術集会（東京），2016.12.
- 古田加代子，奥水めぐみ¹（¹滋賀医科大学医学部看護学科）：65歳以上で転居を経験した後期高齢者の要介護度の変化と関連要因. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会（東京都千代田区），2016.1.
- 奥水めぐみ¹，古田加代子，流石ゆり子²（¹滋賀医科大学医学部看護学科，²山梨県立大学看護学部）：高齢者の生活を支える家族の特性—転居高齢者と地元高齢者の比較から—. 第75回日本公衆衛生学会総会（大阪市），2016.10.
- 今井しのぶ¹，古田加代子，佐久間清美²（¹元江南保健所，²名古屋学芸大学ヒューマンケア学部）：幼児期の広汎性発達障害児を育てる母親の生活上の困難. 第75回日本公衆衛生学会総会（大阪市），2016.10.
- 奥水めぐみ¹，古田加代子（¹滋賀医科大学医学部看護学科）：転居高齢者の生活を支える主介護者の経験における構成概念の検討. 第36回日本看護科学学会学術集会（東京都千代田区），2016.12.
- 服部淳子，汲田明美，岡崎章¹（¹拓殖大学工学部）：イメージ促進型プレパレーション・ツールについて. 第5回日本小児診療多職種研究会，2016.7，神奈川県（横浜市）.
- 服部淳子，柴邦代，汲田明美，天草百合江，岡崎章¹（¹拓殖大学工学部）：発達障害児に対するプレパレーション・ツールの開発のための実態調査. 日本小児看護学会第26回学術集会，2016.7，大分県（別府市）.
- 三宅香織¹，服部淳子，井上真理子²，田中理恵²（¹愛知県立大学大学院，²総合大雄会病院）：バイタルサイン測定のプレパレーション効果に関する唾液を用いたストレス評価. 日本小児看護学会第26回学術集会，2016.7，大分県（別府市）.
- 三宅香織¹，服部淳子，井上真理子²，田中理恵²（¹愛知県立大学大学院，²総合大雄会病院）：バイタルサイン測定のプレパレーション効果に関する鼻部皮膚温度を用いたストレス評価. 日本小児看護学会第26回学術集会，

2016.7, 大分県 (別府市).

加藤智子¹, 山口桂子², 服部淳子¹ (聖霊クリストファー病院, ²日本福祉大学看護学部): NICUに入院している医療的ケアを必要とする子どもの在宅療養への移行の支援, 日本家族看護学会第23回学術集会, 2016.8, 山形県 (山形市)

三宅香織¹, 服部淳子, 井上真理子², 田中理恵² (愛知県立大学大学院, ²総合大雄会病院): バイタルサイン測定のプレパレーション効果に関する心拍を用いたストレス評価, 日本看護科学学会第36回学術集会, 2016.12, 東京都 (新宿).

石光美美子: Subsyndromal deliriumから捉えたせん妄ケア構築の可能性, 日本看護研究学会第42回学術集会 (つくば市), 2016.8.

友竹千恵¹, 本島茉那美¹, 高桑優子¹, 石光美美子, 林美菜子¹ (日白大学): 統合看護実習において成人看護学領域の課題を選択した学生の学びの様相, 第36回日本看護科学学会学術集会 (東京), 2016.12.

糟谷久美子, 山田浩雅, 田上恭子, 中戸川早苗, 菊池美智子¹, 秋山紘子¹, 岩瀬信夫² (医療法人八誠会守山荘病院, ²日本赤十字広島看護大学): 統合失調症者のセルフケア能力質問紙の作成, 第35回日本社会精神医学会 (岡山市), 2016.1.

川久保充裕^{1,2}, 杉山摩利子^{1,2}, 三輪田勤¹, 中村静¹, 鳥居みずき¹, 片平正人, 松本政実³, 尾方秀忠¹ (一宮市立市民病院糖尿病・内分泌内科, ²名古屋大学大学院医学系研究科糖尿病・内分泌内科学, ³一宮市立市民病院呼吸器内科): 糖尿病合併肺結核患者における難治性の検討, 第59回日本糖尿病学会年次学術集会 (京都市), 2016.5.

中村静¹, 尾方秀忠¹, 三輪田勤¹, 鳥居みずき¹, 片平正人, 藤田恵三², 篠塚高宏² (一宮市立市民病院糖尿病・内分泌内科, ²一宮市立市民病院外科): 糖尿病性ケトアシドーシス治療中に非閉塞性腸間膜虚血症を併発した1型糖尿病の1例, 第230回日本内科学会東海地方会 (名古屋市), 2016.10.

安田康紀¹, 岩間信太郎^{1,2}, 川久保充裕¹, 杉山摩利子¹, 岩田尚子¹, 尾方秀忠³, 片平正人, 相村益久¹, 有馬寛¹ (名古屋大学大学院医学系研究科糖尿病・内分泌内科学, ²名古屋大学総合保健体育科学センター, ³一宮市立市民病院糖尿病・内分泌内科): 出産を契機に橋本病からバセドウ病に転じた1例, 第59回日本甲状腺学会学術集会 (東京都), 2016.11.

佐藤まゆみ¹, 片岡純, 森本悦子², 阿部恭子³, 高山京子⁴, 塩原由美子¹, 大内美穂子¹, 佐藤禮子⁵ (千葉県立保健医療大学, ²高知県立大学, ³千葉大学大学院, ⁴聖隷クリストファー大学, ⁵関西国際大学): 外来通院がん患者の主体性を発揮した問題解決を支援できる外来看護師育成プログラムの開発, 第30回日本がん看護学会学術集会 (千葉), 2016.2.

森香津子¹, 片岡純 (津島市民病院): 緩和的ストーマ造設した患者の造設に伴う出来事への意味づけ, 第33回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 (甲府), 2016.2.

佐藤まゆみ¹, 片岡純, 森本悦子², 阿部恭子³, 高山京子⁴, 塩原由美子¹, 大内美穂子¹, 佐藤禮子⁵ (千葉県立保健医療大学, ²高知県立大学, ³千葉大学大学院, ⁴聖隷クリストファー大学, ⁵関西国際大学): 外来通院がん患者

の主体性を活かして行う実践のための外来看護師育成プログラムの妥当性を高めるための課題, 第20回日本看護管理学会学術集会 (横浜), 2016.8.

Kataoka Yumiko: Loss and Resolution in *Riders to the Sea*: Reflecting the Theory of Grief, IASIL-Japan The 33rd International Conference (ICU, Tokyo), 2016.10.

本川菜未子¹, 賀沢弥貴, 松永つきみ², 甲斐恵理奈², 大森知穂², 前田直美² (¹元愛知県立大学, ²宇野病院): 一般病床と療養型病床群を有する宇野病院におけるPNSの現状と課題. 第18回日本医療マネジメント学会学術総会 (福岡), 2016.4.

鈴木康子¹, 賀沢弥貴, 青木真理¹ (¹豊橋市民病院): A病院における小児科病棟に異動した看護師の組織再社会化に関する研究. 第36回日本看護科学学会学術集会 (東京), 2016.12.

入山淳子¹, 小松万喜子 (¹JA岐阜厚生連中濃厚生病院), 西尾亜理砂: 外来でICを受けるがん患者への看護師の関わり現状と課題. 第30回日本がん看護学会 (千葉市), 2016.2.

織田千賀子¹, 小松万喜子 (¹中部学院大学): 看護専門学校の教務責任者が認識する教員の研修支援の状況と関連要因. 日本看護研究学会第42回学術集会 (つくば市), 2016.8.

織田千賀子¹, 小松万喜子 (¹中部学院大学): 看護専門学校の教員の進学に対する支援状況と関連要因. 日本看護研究学会第42回学術集会 (つくば市), 2016.8.

工藤真由美¹, 小松万喜子, 大見サキエ², 中山洋子³, 大平光子⁴, 真下綾子⁵, 石原昌⁶, 永山くに子⁷ (¹岩手県立大学, ²岐阜聖徳学園大学, ³高知県立大学, ⁴広島大学, ⁵東海大学, ⁶昭和大学, ⁷金城大学): 長期実践経験をもつ看護師の看護実践能力に対する看護管理者による評価と期待する能力. 第36回日本看護科学学会学術集会 (東京), 2016.12.

汲田明美, 服部淳子: 小児炎症性腸疾患患者の「生活力」に関する調査—医療者, 家族, 学校教諭と成人した小児炎症性腸疾患患者へのインタビュー調査より—. 日本小児看護学会第26回学術集会 (大分), 2016.7.

黒川景, 白木之浩¹, 岩田洋介² (¹名古屋大学大学院医学系研究科, ²大垣市民病院): Mixed tumor (spindle cell epithelioma) of the vagina. 第329回東海病理医会 (豊明市), 2016.10.

百瀬由美子, 天木伸子, 大林実菜¹, 佐藤晶子², 小島愛子³ (¹人間環境大学, ²聖隷三方が原病院, ³岐阜市民病院): 医療施設の看護師が認知症をもつ入院高齢者への対応で感じる困難のメタ統合. 第29回日本看護福祉学会全国学術大会 (奈良市), 2016.6.

山崎尚美¹, 山根友絵², 池俣志保³, 百々望, 百瀬由美子 (¹畿央大学, ²豊橋創造大学, ³椋山女学園大学): 訪問介護事業所の職員が感じている認知症高齢者への対応時の困難の実態. 第29回日本看護福祉学会全国学術大会 (奈良市), 2016.6.

百々望, 山崎尚美¹, 山根友絵², 池俣志帆³, 百瀬由美子 (¹畿央大学, ²豊橋創造大学, ³椋山女学園大学): 通所介護における認知症高齢者への対応時の困難の実態. 第29回日本看護福祉学会全国学術大会 (奈良市), 2016.6.

池俣志帆¹, 山崎尚美², 百々望, 山根友絵³, 百瀬由美子 (¹ 椋山女学園大学, ² 畿央大学, ³ 豊橋創造大学): グループホーム・小規模多機能型居宅介護における認知症高齢者への対応時の困難の実態. 第29回日本看護福祉学会全国学術大会 (奈良市), 2016.6.

小島愛子¹, 百瀬由美子 (¹ 岐阜市民病院): 一般病院の認知症高齢者に対する看護師の変化～身体拘束に焦点を当てたケアカンファレンスを通して～. 第29回日本看護福祉学会全国学術大会 (奈良市), 2016.6.

山崎尚美¹, 百瀬由美子, 天木伸子, 南部登志江¹, 島岡昌代¹, 松原寿美恵¹ (¹ 畿央大学): グループホームの終末期研修会に参加した受講者の死生観. 第17回日本認知症ケア学会大会 (神戸市), 2016.6.

百瀬由美子, 高道香織¹, 松永美保² (¹ 国立長寿医療研究センター, ² 春日井市民病院): 急性期病院における認知症高齢者の意思決定支援に関する教育的介入の効果—評価指標を用いた介入前と6ヵ月後の比較—. 第21回日本老年看護学会学術集会 (大宮市), 2016.7.

高道香織¹, 百瀬由美子, 松永美保² (¹ 国立長寿医療研究センター, ² 春日井市民病院): 急性期病院での認知症終末期の栄養に関する意思決定支援の促進因子と阻害因子の検討—看護カンファレンスの分析より—. 第21回日本老年看護学会学術集会 (大宮市), 2016.7.

山崎尚美¹, 島岡昌代¹, 南部登志江¹, 百瀬由美子, 天木伸子, 小野幸子² (¹ 畿央大学, ² 宮城大学): A 県グループホームの終末期研修会に参加した受講者の知識の習得状況. 第21回日本老年看護学会学術集会 (大宮市), 2016.7.

池俣志帆¹, 荒井祐子², 百瀬由美子 (¹ 椋山女学園大学, ² MK ホーム): 認知症高齢者施設で漸進的筋弛緩法を実践して—アクションリサーチを用いて—. 第21回日本老年看護学会学術集会 (大宮市), 2016.7.

山根友絵¹, 山崎尚美², 池俣志帆³, 百々望, 百瀬由美子 (¹ 豊橋創造大学, ² 畿央大学, ³ 椋山女学園大学): 訪問看護における認知症高齢者への対応時の困難の実態. 第21回日本老年看護学会学術集会 (大宮市), 2016.7.

田中和奈¹, 百々望, 高橋晶¹, 百瀬由美子 (¹ 奈良学園大学,) : Pain Management Education Content Requested by Nurses Working at Residential Facilities for Older People. 第36回日本看護科学学会学術集会 (東京), 2016.12.

池俣志帆¹, 荒井祐子², 百瀬由美子 (¹ 椋山女学園大学, ² MK ホーム): 認知症高齢者施設における漸進的筋弛緩法の6ヶ月間の介入が利用者の行動・心理症状と職員の介護負担感へ及ぼす影響. 第36回日本看護科学学会学術集会 (東京), 2016.12.

緒方京, 志村千鶴子¹, 神谷摂子, 下睦子 (¹ 創価大学看護学部): 新卒助産師が入職時に求められる母乳育児支援能力と継続教育の現状—新卒者指導助産師の視座から—. 第30回日本助産学会学術集会 (京都市), 2016.3.

岡田悦政, 岡田瑞恵¹ (¹ Yms Laboratory): 植物種子抽出物による時計遺伝子の活性化. 日本家政学会第68回大会 (金城学院大学, 名古屋市), 2016.5.28-29.

岡田瑞恵¹, 岡田悦政 (¹ Yms Laboratory): 概日時計遺伝子発現に対する *Petasites japonicus* の影響. 日本家政学会第68回大会 (金城学院大学, 名古屋市), 2016.5.28-29.

岡田悦政, 岡田瑞恵¹ (Yms Laboratory), ヒト肺若齢及び老齢線維芽細胞におけるケルセチンとコーヒー酸による時計遺伝子の制御. 第89回日本生化学会大会 (仙台国際センター, 仙台市), 2016.9.26.

岡本和士, 中谷こずえ¹, 北川邦行², 久野 覚³, 吉田友紀子³, 松浪有高³, 田上恭子, 宮地清和², 高田誠一郎², 権田隆実⁴ (¹中部学院大学短期大学部, ²ミヤチ株式会社, ³名古屋大学, ⁴医療法人常念会): LEDによる概日リズム調整を目的とした照明環境が高齢者の睡眠状況に及ぼす影響. 第31回日本老年精神医学会 (金沢市), 2016.6.

Kazushi Okamoto, Satoru Kuno¹, Kyoko tagami, Kozue Nakatani², Aritaka Matsunami¹, Seiichiro Takada³, Kuniyuki Kitagawa³, Tunemi Gonda⁴ (¹名古屋大学, ²中部学院大学短期大学部, ³ミヤチ(株), ⁴医療法人常念会): Fifth International Conference on Human-Environment System, ICHES2016(Nagoya), 2016. 10.

伊井みず穂¹, 岡本和士, 紀平為子², 藤原奈佳子³ (¹富山大学, ²関西医療大学, ³人間環境大学): 健康増進活動の継続に關与する個人要因の抽出と支援方法の検討. 第75回日本公衆衛生学会 (大阪), 2016.10.

鬼塚知里: 看護師の心理ストレスが血糖維持に及ぼす影響について. 日本産業衛生学会 (福島), 2016. 5.

木村友美¹, 西川広紀¹, 植木美貴子¹, 柴邦代, 汲田明美, 天草百合江, 服部淳子 (¹あいち小保健医療総合センター): 「入院中の小児に対する事故危険回避教育ツール」導入の効果—保護者の評価と事故防止行動に關する意識の変化—. 日本小児看護学会 第26回学術集会 (大分県), 2016.7.23.

澤部啓子¹, 田中理恵¹, 井上真理子¹, 柴邦代 (¹総合大雄会病院): 保育士と看護師の協働: 看護・保育過程 (大雄会モデル)の構築—保育士の視点から—. 第5回日本小児診療多職種研究会 (横浜市), 2016.7.30.

田中理恵¹, 澤部啓子¹, 井上真理子¹, 柴邦代 (¹総合大雄会病院): 保育士と看護師の協働: 看護・保育過程 (大雄会モデル)の構築—看護師の視点から—. 第5回日本小児診療多職種研究会 (横浜市), 2016.7.30.

柴邦代, 汲田明美, 天草百合江, 服部淳子, 曾田陽子, 山口桂子¹ (¹日本福祉大学): 専門看護師の家族看護実践の実態. 日本家族看護学会 第23回学術集会 (山形市), 2016.8.28.

大山早紀子¹, 下園美保子, 大島巖² (¹立教大学, ²社会事業大学): 「精神科デイケアおよび訪問支援統合化プログラム」の開発評価の可能性の検討—フィデリティ得点の分布から—. 第35回日本社会精神医学会 (岡山市), 2016.1.

Yasuko Aso¹, Masashige Saito², Yuka Nojiri¹, Yukiko Mochizuki¹, Mihoko Shimozono, Asuka Nemoto¹ and Kazue Yamaoka¹. (¹Teikyo University, ²Nihon Fukushi University): Association between behavioral and psychological characteristics and room environments among nursing or social work students. (医療・福祉系大学生による整理整頓状況と意識や行動との関連について). 19th East Asian Forum of Nursing Scholar (EAFONS, 千葉), 2016.3.

吉岡幸子¹, 森田展彰², 岸恵美子³, 下園美保子, 小宮山恵美⁴, 柴田亜希¹, 上野公子⁵, 麻生保子⁵, 野尻由香⁵, 望月由紀子⁵, 松山真知子⁶ (¹埼玉県立大学, ²筑波大学, ³東邦大学, ⁴東京都北区役所, ⁵帝京大学, ⁶元筑波大学特別研究員): 認知行動療法に着目した高齢者虐待予防プログラムの検討 (第1報)—5回版の実施と課題—, 第13回日本高齢者虐待防止学会横浜大会, 2016.7.

岸恵美子¹, 柴田亜希², 下園美保子, 吉岡幸子², 小宮山恵美³, 森田展彰⁴, 麻生保子⁵, 野尻由香⁵, 望月由紀子⁵, 上野公子⁵, 松山真知子⁶ (¹東邦大学, ²埼玉県立大学, ³東京都北区役所, ⁴筑波大学, ⁵帝京大学, ⁶元筑波大学特別研究員): 認知行動療法に着目した高齢者虐待予防プログラムの検討 (第2報)—ボランティアを対象としたセミナー実施後の評価から—, 第13回日本高齢者虐待防止学会横浜大会, 2016.7.

下園美保子, 小宮山恵美¹, 岸恵美子², 柴田亜希³, 吉岡幸子³, 森田展彰⁴, 上野公子⁵, 麻生保子⁵, 野尻由香⁵, 望月由紀子⁵, 松山真知子⁶ (¹東京都北区役所, ²東邦大学, ³埼玉県立大学, ⁴筑波大学, ⁵帝京大学, ⁶元筑波大学特別研究員): 認知行動療法に着目した高齢者虐待予防プログラムの検討 (第3報)—映像教材の活用方法に関する考察—第13回日本高齢者虐待防止学会横浜大会, 2016.7.

佐々木真紀子¹, 曾田陽子, 佐藤美紀 (¹秋田大学): 事例セッション: 看護診断の正確度を高めるための臨床推論の進め方—慢性呼吸不全の患者の活動/休息の領域に焦点を当てた事例検討から—. 第22回日本看護診断学会学術大会 (福岡市), 2016.7.

小笹由里江¹, 曾田陽子, 小松万喜子 (¹愛知県立大学看護学部実習指導員): クリニカル・ラダーに対する看護師の意味づけと意味づけに影響する要因—レベル I の看護誌の意味づけに焦点をあてて—. 第47回日本看護学会—看護教育—学術集会 (大津市), 2016.8.

小笹由里江¹, 曾田陽子, 小松万喜子 (¹愛知県立大学看護学部実習指導員): クリニカル・ラダーに対する看護師の意味づけと意味づけに影響する要因—4レベルの比較から—. 第42回日本看護研究学会学術集会 (つくば市), 2016.8.

梶田菜穂¹, 曾田陽子, 小松万喜子 (¹名古屋セントラル病院): 手術室看護師の臨地実習指導に対する認識と課題. 第42回日本看護研究学会学術集会 (つくば市), 2016.8.

北島麻衣子¹, 大津春香¹, 田上恭子, 笹竹ひかる¹, 井瀧千恵子¹, 加藤拓彦¹, 小山内隆生¹, 米内山千賀子¹, 漆坂真弓¹, 山中亮², 岩岡和輝¹, 西沢義子¹ (¹弘前大学, ²名古屋市立大学): 福島第一原子力発電所事故後, 避難生活を送る A 町住民の帰還に対する思い. 日本保健物理学会第49回研究発表会 (弘前市), 2016.6-7.

Tagami, K. : Effects of narcissistic vulnerability on remembering past events. 31st International Congress of Psychology (横浜市), 2016.7.

田上恭子: 自己愛的脆弱性が想起された出来事の主観的体験に及ぼす影響—青年期・成人期・中年期における検討—. 日本心理臨床学会第35回秋季大会 (横浜市), 2016.9.

戸田由美子, 磯野洋一¹, 梶川拓馬² (¹関西看護医療大学, ²明治国際医療大学): 精神科病棟における看護師の患者アドボカシーを实践する上での困難さ. 第36回日本看護科学学会学術集会 (東京), 2016.12.11.

藤井知美¹, 小山真理子¹, 鈴木美恵子², 山村美枝¹, 戸田由美子, 眞崎直子¹, 中村もとゑ¹, 山本浩子¹, 三味祥子³, 宗内桂¹ (¹日本赤十字広島看護大学, ²元日本赤十字広島看護大学, ³広島国際大学): 地域包括ケア時代を支える看護師の実践能力育成を目指した実習 (案) その1 実習の枠組みと教育目標. 第36回日本看護科学学会学術集会 (東京), 2016.12.11.

宗内桂¹, 小山真理子¹, 三味祥子³, 山本浩子¹, 中村もとゑ¹, 山村美枝¹, 眞崎直子¹, 戸田由美子, 鈴木美恵子², 藤井知美¹ (¹日本赤十字広島看護大学, ²元日本赤十字広島看護大学, ³広島国際大学): 地域包括ケア時代を支える看護師の実践能力育成を目指した実習 (案) その2 看護の基盤となる実習. 第36回日本看護科学学会学術集会 (東京), 2016.12.11.

小山真理子¹, ²鈴木美恵子, 宗内桂¹, 眞崎直子¹, 山村美枝¹, 山本浩子¹, 中村もとゑ¹, 藤井知美¹, 戸田由美子, ³三味祥子 (¹日本赤十字広島看護大学, ²元日本赤十字広島看護大学, ³広島国際大学): 社会保障制度改革をふまえた看護基礎教育における実習のあり方の検討 (交流集会). 第36回日本看護科学学会学術集会 (東京), 2016.12.11.

成元哲¹, 牛島佳代, 松谷満¹, 阪口祐介² (¹中京大学, ²桃山学院大学): 福島原発事故と社会的格差 (1)——被災者が納得して自己決定できる環境を求めて. 第89回日本社会学会大会 (福岡), 2016.10.

松谷満¹, 成元哲², 牛島佳代, 阪口祐介² (¹中京大学, ²桃山学院大学): 福島原発事故と社会的格差 (2)——原発事故による影響の社会経済的格差. 第89回日本社会学会大会 (福岡), 2016.10.

牛島佳代, 成元哲¹, 松谷満¹, 阪口祐介² (¹中京大学, ²桃山学院大学): 福島原発事故と社会的格差 (3)——母親のメンタルヘルスの不良持続に関連する要因, 第89回日本社会学会大会 (福岡), 2016.10.

河邊紅美¹, 宇城 令, 箕浦哲嗣, 藤原奈佳子², 賀沢弥貴, 益 加代子 (¹小牧市民病院, ²人間環境大学): 自治体DPC対象病院に勤務する看護師の病院経営参画に関連する要因. 第20回日本看護管理学会 (神奈川県), 2016.8.

田中夕美子¹, 宇城 令, 片岡 純, 藤原奈佳子², 賀沢弥貴, 益 加代子 (¹名古屋セントラル病院, ²人間環境大学): 新看護方式パートナーシップナーシングシステム (PNS)における新人看護師の成長に関する認識—新人, 中堅, 師長3者の面接調査より—, 第20回日本看護管理学会 (神奈川県), 2016.8.

Rei Ushiro, Mariko Tsurumi¹, Shiho Takayama², Yoshikazu Asada³, Ryutarou Kawano⁴, Tsuyoshi Hasegawa⁵ (¹Jichi Medical University Hospital, ²School of Nursing, Seitoku University, ³Center for Information, Jichi Medical University, ⁴School of Medicine, Jichi Medical University, ⁵Ageo Central General Hospital): Analysis of Cases in Which Using ImSAFER in Japan Stopped an Error from Becoming Greater. The 5th World Congress of Clinical Safety (Boston), 2016.9.

Rei Ushiro, Shiho Takayama¹, Yoshikazu Asada², Masaru Kawakami³ (¹School of Nursing, Seitoku University, ²Center for Information, Jichi Medical University, ³School of Nursing, Jichi Medical University): The development of teaching materials in *manga* style for self-learning in Japan with which students can learn to transfer patients into wheel-chairs. 33rd International scientific meeting on quality and safety in health care (Tokyo), 2016.10.

Satoko Yanagisawa: Effect of MCH handbook on maternal knowledge and behavior. 10th Maternal and Child Health Handbook International Conference (Tokyo), 2016. 11.

杉本敬子¹, 成瀬和子², 柳澤理子, 神原咲子³, 近藤暁子⁴, 近藤麻理⁵, 田代順子⁶, 中山洋子³, 南裕子³ (¹筑波大学

医学医療系,²東京医科大学,³高知県立大学,⁴東京医科歯科大学,⁵東邦大学,⁶聖路加国際大学)：看護大学におけるグローバル化への対応状況に関する調査. 第36回日本看護科学学会学術集会(東京), 2016.12.

福永倫子¹, 横山加奈, 木原智行¹, 麻野美子¹, 田中亜紀¹, 石田清子¹, 中原千尋¹, 吉田順一¹(¹下関市立市民病院)：人工呼吸管理下患者の鎮静・鎮痛管理にBehavioral Pain Scale使用した効果. 第38回日本呼吸器療法医学会学術集会(名古屋市), 2016.9.

〔講演等〕

深田順子, 八重樫裕¹, 鎌倉やよい², 西岡裕子, 青山寿昭¹, 藤井博子¹, 安部哲也³, 植村則久³(¹愛知県がんセンター中央病院看護部,²日本赤十字豊田看護大学看護学部,³愛知県がんセンター中央病院消化器外科)：パネルディスカッション5「超高齢社会における摂食嚥下障害看護の役割」食道がん術後患者の嚥下・栄養状態に関するセルフマネジメントを考える. 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会(新潟市), 2016.9.24.

古田加代子：愛知県平成27年度新任期保健師等保健指導研修「地域の人々と創る保健師活動とは」. 2016.6.17, 愛知県自治センター.

服部淳子：ワークショップ講師,「家族看護とは」,第15回感性デザインサマーセミナー,2016.8.マホロバマインズ三浦.

服部淳子：エリア支援保育所モデル事業研修会講師,「うちの子大丈夫!? 安心して子育てを楽しむために」,講師,2016.1.21, 守山生涯学習センター.

服部淳子：エリア支援保育所モデル事業子育て講座講師,「うちの子大丈夫!? 安心して子育てを楽しむために」,2016.6.9, 和進館保育園子育て支援センター.

服部淳子：幼稚園保護者向け勉強会講師,「保育園における感染症対策」,第二ひばり幼稚園. 2016.7.11.

神谷摂子：刈谷市マタニティーサロン講師,「母乳育児の大切さ」.2016.3.10,7.14,11.10.刈谷市中央子育て支援センター.

神谷摂子：地域子育て支援拠点コース・地域子育て支援拠点事業,平成28年度子育て支援員専門研修講師,「親と子の理解と愛着を育む援助 母親の理解」.2016.8.7 社会福祉研修センター,2016.11.20.総合社会福祉会館,名古屋子ども青少年局子育て支援部子育て支援課.

神谷摂子：子育て支援者養成講座 産後サポート事業編講師,「産後サポート事業について 対象者の理解」.NPO 法人ファミリーステーションRin,2016.10.16.岩崎公民館.

片岡純：愛看アラムナイ,教育講演「心理的危機状況を回避するためのアプローチ-アギュララ&メズイックの問題解決モデルの活用」.2016.6.5.愛知県立大学

汲田明美：IBDの子どもに必要な「生活力」とは～先輩患者・家族・教諭・医療者へのインタビュー調査から～報告,第14回IBDの子どもと歩む会.2016.8.6.

箕浦哲嗣：Moodleを用いた看護教育(授業)への実践的活用.2016年度摂南大学看護学部FD研修会(枚方市),

2016.12.22.

中戸川早苗：就労と生活との調和を目指した看護援助について，2016.5.22，愛知県医療研究集会（愛知労働会館）。

岡田悦政：食べ物と健康（食品の変質），管理栄養士国家試験講習，（椙山女学園大学，名古屋市）2016.8.23.

岡本和士：「健康度調査結果報告」，2016.11.1.（株）エナジーサポート創立記念式典（犬山市）。

岡本和士：ゲートキーパー養成講座，2016.11.11.，（豊山町）

岡本和士：健康管理共同事業 勉強会，2016.12.5.，（名古屋）

岡本和士：ゲートキーパー養成講座，2016.12.19.，（清須市）。

柴邦代：「生と性～いのちの重み・生きること」講演会，2016.7.5. 椙山女学園中学校。

柴邦代：平成28年度愛知県臨地実習指導者講習会（第1回）「実習指導の実際（小児看護）」，2016.6.2. 愛知県看護研修センター。

柴邦代：平成28年度愛知県臨地実習指導者講習会（第2回）「実習指導の実際（小児看護）」，2016.10.6. 愛知県看護研修センター。

柴邦代：独立行政法人国立病院機構東海北陸グループ 平成28年度助産師・看護師実習指導者講習会「小児看護学」，2016.9.29. 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター。

清水宣明：伊勢市の災害弱者を地震津波から守る考え方と実践，三重県伊勢市御園地区防災講演会，2016.4.24. 伊勢市山田奉行所記念館。

清水宣明：鳥羽市の災害弱者を守るための地震津波対策について，鳥羽商船高等専門学校防災研修会，2016.5.31. 鳥羽市国立鳥羽商船高等専門学校。

清水宣明：豊浜地区の地震津波対策について，三重県伊勢市西豊浜地区防災講演会，2016.6.4. 西豊浜公民館。

清水宣明：南海トラフ巨大地震対策の考え方と実践，三重県多気郡明和町大淀老人会防災講演会，2016.6.12. 大淀公民館。

清水宣明：伊勢市の子どもたちを地震津波から守る考え方と実際，三重県伊勢市ゆたか幼稚園防災講演会，2016.6.19. 伊勢市ゆたか幼稚園。

清水宣明：御園地区の地震津波対策の考え方について，三重県伊勢市御園まちづくり協議会防災講演会，2016.6.23. 伊勢市御園支所。

清水宣明：上條地区の地震津波対策の考え方，三重県伊勢市上條地区防災講演会，2016.6.26. 伊勢市上條公民館。

清水宣明：北区の子どもたちの命を大規模災害から守るには. 名古屋市北保育所エリア支援保育所防災研修会.
2016.6.28. 名古屋市北区ユースクエア.

清水宣明：鳥羽市の要介護者を地震津波から守るための考え方と実践. 三重県鳥羽市社会福祉協議会防災研修会.
2016.7.29. 鳥羽市社会福祉協議会.

清水宣明：神島の災害弱者を地震津波から守るための考え方と実践. 三重県鳥羽市神島町防災講演会. 2016.8.6. 神島公民館.

清水宣明：伊勢市の小中学生の命を地震津波から守るための考え方と実践. 三重県伊勢市小中学校校長会防災研修会.
2016.8.17. 伊勢市伊勢トピア.

清水宣明：上長屋地区の災害弱者を地震津波から守るには. 三重県伊勢市上長屋地区防災講演会. 2016.8.26. 上長屋公民館.

清水宣明：港区・熱田区の子どもたちを地震津波から守る考え方と実際. 名古屋市港区熱田区エリア支援保育所防災研修会. 2016.9.16. 熱田区役所.

清水宣明：宮川町の災害弱者を地震津波から守る対策. 三重県伊勢市宮川町防災講演会. 2016.10.21. 伊勢市宮川公民館.

清水宣明：志摩市の災害弱者の命を地震津波から守る. 三重県志摩市会議・総合相談支援課防災研修会. 2016.11.3. 志摩市役所.

清水宣明：中区の保育園・幼稚園児の命を大規模災害から守るには. 名古屋市中区エリア支援保育所防災講演会.
2016.11.1. 中区役所.

清水宣明：御園中学校の生徒を地震津波から守るには 中学生の役割. 三重県伊勢市御園中学校防災授業.
2016.11.12. 伊勢市立御園中学校.

下園美保子：保健師の仕事の魅力～母子保健からひきこもりまで地域を支える力～. 2016. 2月14日. 浜松市地域情報センター

下園美保子：平成27年度下市町保健福祉事業推進会. 2016. 3月29日. 奈良県下市町地域包括支援センター

下園美保子：下市町地域包括支援センター評価会議. 2016. 3月31日. 奈良県下市町地域包括支援センター

下園美保子：おたっしや下市21計画評価検討委員会事務局会議. 2016. 5月6日. 奈良県下市町保健センター

下園美保子：健康いちほら21計画推進ワーキング研修会. 2016. 5月27日. 千葉県市原市保健センター

下園美保子：おたっしや下市21計画評価検討委員会事務局会議. 2016. 6月16日. 奈良県下市町保健センター

下園美保子：健康いちほら21計画推進ワーキング研修会，2016. 6月24日，千葉県市原市保健センター

下園美保子：おたっしや下市21計画評価検討委員会事務局会議，2016. 5月6日，奈良県下市町保健センター

下園美保子：おたっしや下市21計画評価検討委員会事務局会議，2016. 8月25日，奈良県下市町保健センター

下園美保子：おたっしや下市21計画評価検討委員会事務局会議，2016. 9月5日，奈良県下市町保健センター

山田浩雅：地域精神保健福祉関係者のための研修会（光風会），2016.12.17（大洗）

柳澤理子：看護研究スキルアップ講座「看護研究の基礎」，2015.5.27，愛知県立大学

柳澤理子：国際医療支援室主催セミナー「カンボジア農村の人々の受療行動とその背景」，2016.9.25，名古屋大学医学部保健学科。

柳澤理子：キャリアとしての国際保健，2016.10.1，学校法人滝学園滝高等学校。

横山加奈：研究の講評と臨床研究の進め方，2016.5.20，下関市立市民病院。

[学会の企画運営等]

天木伸子：第29回日本看護福祉学会学術大会実行委員，2016.6.25-26，畿央大学（奈良県）。

宇城 令：日本看護科学学会和文専任査読委員2015.4～2017.9.30

宇城 令：日本看護研究学会査読委員2012.4～2018.定時社員総会まで

藤野あゆみ：第29回日本看護福祉学会学術大会実行委員，2016.6.25-26

藤野あゆみ：日本老年看護学会 平成28年認知症看護対応力向上研修名古屋会場運営企画委員，2016.9.1～2016.10.31

深田順子：日本看護研究学会評議員，2012.7～2016.8

深田順子：日本看護研究学会査読委員，2012.7～2018.8

深田順子：日本看護科学学会代議員，2015.2～2019.3

深田順子：日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員，2015.8～2017.7.

深田順子：日本手術看護学会査読員，2015.4～2017.3.

深田順子：看護科学研究査読委員，2015.4～2017.3.

古田加代子：日本看護科学学会代議員，2015.2.～2019.3.

古田加代子：日本看護医療学会査読委員，2007.4.～2017.3.

服部淳子：日本小児看護学会専任査読者，2005.8～現在

服部淳子：日本看護研究学会査読者，2012.9～現在

広瀬会里：日本糖尿病教育・看護学会専任査読者，2016.9.17～現在.

神谷摂子：愛知母性衛生学会，幹事，2016～2018.

糟谷久美子：一般社団法人日本精神保健看護学会，広報委員，2015.10.～2017.6.

片岡純：第30回日本がん看護学術集会プログラム情報交換会「外来と地域をつなぐがん看護専門外来」座長
2016.2.20

片岡純：日本看護倫理学会評議員，2015.6.13～2018. 総会まで

片岡純：日本看護研究学会査読委員，2015.4.1～2018. 社員総会まで

片岡純：日本がん看護学会査読委員，2015.4.11～2017.

片岡純：日本看護科学学会和文誌専任査読委員，2015.10.1～2017.9.30

片岡純：日本看護研究学会評議員，2014.3.～2018.

片岡純：日本がん看護学会代議員，2015.2.27～2017.

賀沢弥貴：聖泉看護学研究査読者，2013.8～現在.

小松万喜子：日本死の臨床研究会世話人，1994.11～2018.11.

小松万喜子：日本看護診断学会評議員，2007.6～2016.6. 研究推進委員，2013.8～2016.6. 理事，2016.6～2018.6.

小松万喜子：日本看護学教育学会評議員，2016.6～2018.6. 理事，2016.6～2018.6.

小松万喜子：日本看護管理学会評議員，2009.4～2017.7.

小松万喜子：日本看護科学学会代議員，2011.3～2019.2.

小松万喜子：日本看護研究学会評議員，2014.5～2018. 総会.

箕浦哲嗣：日本看護研究学会評議員，2014～現在。

箕浦哲嗣：日本看護研究学会査読委員，2015～現在。

箕浦哲嗣：日本人間工学会第24回看護人間工学部会総会・研究会 大会長，2016.11.5，愛知県立大学

箕浦哲嗣：日本人間工学会看護人間工学部会 Web担当委員，2000～現在。

百瀬由美子：第29回日本看護福祉学会全国学術大会企画委員（奈良市開催），2015.4-2016.12.

百瀬由美子：第29回日本老年学会合同総会及び第22回日本老年看護学会企画委員（名古屋市開催），2015.4-2017.12.

中戸川早苗：一般社団法人日本精神保健看護学会 広報委員，2015.10～2017.6.

曾田陽子：日本看護診断学会用語検討委員，2013-2016.7.

曾田陽子：日本看護診断学会編集委員，2016.9-2019.

田上恭子：Asian Society of Human Services 理事，2012.10. ～現在.

田上恭子：Total Rehabilitation Research 編集委員，2016.4.1.～現在.

山田浩雅：日本精神保健看護学会 第26回学術集会 学会実行委員（天津市），2016.7.1-2

柳澤理子：国際保健医療学会理事，編集委員，2014.4～現在.

柳澤理子：日本看護研究学会査読委員，2015.4～現在

柳澤理子：日本看護科学学会代議員，2015.4～，同国際活動推進委員，2015.9～

柳澤理子：日本公衆衛生学会査読委員，2015.6～現在

米田雅彦：日本結合組織学会 評議員，2005.5.28～現在

米田雅彦：日本褥瘡学会 評議員，2012.6.15～現在

〔社会活動・地域活動〕

天木伸子：平成28年認知症看護対応力向上研修名古屋会場運営企画委員，2016.9～10，愛知県立大学（愛知県）.

馬場美幸：入居者に対するアロマセラピーを用いたハンドマッサージの実施，2013.7～継続中，介護老人保健施設「ごきその杜」（名古屋市）

馬場美幸：地域で生活している高齢者と育児中の母親に対するアロマセラピーを用いたハンドマッサージの実施，
2013.8～継続中，「平成25年度地域の絆づくり重点推進モデル事業 地域支え合いセンター・ひなたぼっこくらぶ」
(岐阜県本巣郡)

馬場美幸：入院患者に対するアロマセラピーを用いたマッサージの実施，2015.7～継続中，名古屋第一赤十字病院緩和
ケア病棟（名古屋市）

益加代子：第43回医療研究全国集会in千葉 看護分科会助言者，2016.6.11.

益加代子：愛知県看護協会業務委員会委員，2014.7～現在，愛知県看護協会

益加代子：名古屋市看護管理者研修会「看護経営と経済」講師，2016.7.22，なごやナースキャリアサポートセンター.

藤野あゆみ：新人研修講師，2016.5，羽島市民病院.

藤野あゆみ：高齢者のヘルスアセスメント研修講師，2016.10，羽島市民病院.

古田加代子：日進市介護認定審査委員会委員，2001.4～2019.3，日進市役所.

古田加代子：春日井市健康施策等推進協議会委員，2016.4～2017.3，春日井市役所.

服部淳子：春日井市心理リハビリテーション事業「一週間キャンプ」看護師，2016.8

服部淳子：愛知県心身障害者コロニー中央病院看護職員研修「家族看護学研修」講師，2016.6.23，9.20，12.1

服部淳子：愛知県立特別支援学校における医療的ケア連絡協議会委員（愛知県教育委員会），2012～.

服部淳子：慶応義塾大学理工学部特別講師，2016.10

服部淳子：子育て支援センター育児相談，和進館保育園，もみじ子育て広場，2016.7～.

広瀬会里：特定非営利活動法人（NPO）みなとネット21理事，1997.4～現在.

石光芙美子：独立行政法人国立病院機構埼玉病院卒後研修「看護研究」講師，2015.5～2016.3

石光芙美子：愛知県立大学看護実践センター看護研究個別指導，2016.9～2017.3

神谷摂子：NPO法人ファミリーステーションRin 産後サポート事業運営アドバイザー，2016.2～現在.

神谷摂子：平成28年度子育て支援員専門研修（地域子育て支援拠点コース・地域子育て支援拠点事業）実行委員，
2016～2017.3.

片岡純：愛知県看護協会脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程「脳卒中患者・家族の理解と支援」非常

勤講師, 2016.5.6., 5.20, 愛知県看護協会

片岡純: がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン評価委員, 2013.5.~2017.3.

片岡純: 日本赤十字豊田看護大学3つのポリシーにかかる外部評価委員, 2016.7.15. ~2017.3.31.

片岡純: 第6回愛知がんリハビリテーション研修会, 実行委員・ファシリテーター 2016.9.19. 藤田保健衛生大学病院

賀沢弥貴: 愛知県看護協会 認定看護師教育課程「摂食・嚥下障害看護」講師, 2012.10~現在.

賀沢弥貴: 名古屋大学医学部附属病院看護部 認定看護管理研修「プライマリーコース」講師, 2010.8~現在.

賀沢弥貴: 名古屋大学医学部附属病院看護部 認定看護管理研修「セカンダリーコース」講師, 2011.7~現在.

賀沢弥貴: 愛知県看護協会 認定看護管理者教育課程「セカンドレベル」講師, 2008.10~現在.

賀沢弥貴: 岐阜大学医学部看護学科「看護管理論」非常勤講師, 2014.7~現在.

賀沢弥貴: 岐阜大学大学院医学系研究科看護学専攻「看護マネジメント論」非常勤講師, 2015.11~現在.

賀沢弥貴: 愛知県看護協会 認定看護管理者教育課程 教育運営委員会委員, 2014.4~現在.

賀沢弥貴: 宇野病院研究指導, 2015.4~現在.

小松万喜子: 東北大学病院看護師等研修「レベル I 取得者研修: 看護研究」講師, 2016.2.5, 2.6, 5.21, 7.29, 7.30, 東北大学病院.

小松万喜子: 東海北陸地区助産師看護師実習指導者講習会「実習評価」講師, 2016.9.6, 9.12, 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター.

小松万喜子: 長野県教員養成講習会講師「教育方法」, 2016.6.24, 7.15, 7.22, 長野県看護協会.

小松万喜子: 愛知県看護協会訪問看護認定看護師教育課程講師「指導」, 2016.6.10, 7.8, 愛知県看護協会.

小松万喜子: 愛知県看護協会脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程講師「脳卒中患者・家族の理解と支援」, 2016.6.10, 愛知県看護協会.

汲田明美: 時間外電話相談事業「育児もしもしキャッチ」相談員, 2013.5.~2016.5. あいち小児保健医療総合センター内保健センター (大府市).

箕浦哲嗣: 平成28年度名古屋大学医学部附属病院看護部認定看護管理研修セカンダリーコース「情報テクノロジー」講師, 2016.9, 名大病院.

箕浦哲嗣：平成28年度名古屋大学医学部附属病院看護部認定看護管理研修プライマリコース「情報管理, プレゼンテーションスキル」講師, 2016.9, 名大病院.

箕浦哲嗣：平成28年度愛知県看護協会摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程「情報管理」講師, 2016.9, 愛知県看護協会.

百瀬由美子：愛知県看護協会脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程, 共通科目講義「看護倫理」, 愛知県看護協会, 2016.4.

百瀬由美子：愛知県看護協会脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程, 共通科目講義「看護理論」, 愛知県看護協会, 2016.6.

百瀬由美子：愛知県看護協会訪問看護認定看護師教育課程, 共通科目講義「看護倫理」, 愛知県看護協会, 2016.7.

百瀬由美子：日本老年看護学会主催 認知症看護対応力向上研修, 認知症患者に特有な看護上の課題と看護の基本, 2016.11.22, 愛知県立大学守山キャンパス.

百瀬由美子：2016年度高齢者医療・在宅医療 総合看護研修, 高齢者のエンド・オブ・ライフケア, 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター, 2016.12.

百瀬由美子：日本老年看護学会理事, 総務委員会委員, 専門看護師・認定看護師活動推進委員会委員長, 生涯学習委員会委員, 2016.6. ～2018年度社員総会

百瀬由美子：日本老年看護学会誌「老年看護学」査読委員, 2016.6. ～2018年度社員総会

百瀬由美子：日本老年社会科学学術雑誌査読委員, ～2018.3.

百瀬由美子：日本看護科学学会代議員, 看護倫理検討委員会委員, ～2018年度社員総会

百瀬由美子：日本看護福祉学会役員, 研究推進委員会委員, ～2018年度社員総会

百瀬由美子：日本看護倫理学会評議員, ～2018年度社員総会

百瀬由美子：日本地域看護学会学術雑誌査読委員, ～2018年度社員総会

百瀬由美子：愛知県看護協会認定看護師教育課程教員会, ～平成29年3月31日

百瀬由美子：平成28年度愛知県瀬戸保健所地域歯科保健課題対応事業, 在宅口腔ケア推進検討委員, 2016.6. ～2017.3.

坂本明子¹, 中戸川早苗, 長野志保 (¹久留米大学)：WRAP (wellness recovery action plan)集中クラス開催, 2016.5.28, 29, 納屋工房コミュニティースペース (姫路).

緒方京：愛知県助産師会 推薦委員，2015.5～現在

緒方京：愛知県母性衛生学会 幹事，2016.9～現在

大原良子：愛知県周産期医療協議会 委員，2016.5. ～

岡本和士：西春日井郡豊山町健康づくり審議会会長，2016.7-2018.6.

岡本和士：岡崎市こころの健康づくりネットワーク会議議長，2016.4-2018.3.

岡本和士：尾張北部医療圏地域・職域連携推進協議会委員，2016.4-2018.3.

岡本和士：平成28年度師勝保健所自殺予防対策推進ネットワーク会議委員，2016.4-2017.3.

岡本和士，杉山希美：あいちヘルスアップコンソーシアム，アカデミック会員 事務局，2014.8. ～2016.12.

岡本和士：特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち倫理委員，2015.6-2018.11.

佐藤美紀：聖霊病院研究指導，2011.4. ～現在

柴邦代：平成28年度「もりやまっこ子育て広場in守山」ミニ講座「ドキッ・ヒヤッ，ここが危険！ 事故防止のポイント」. 2016.10.20. 名古屋市守山スポーツセンター.

清水宣明. 名古屋市中村区エリア支援荒輪井保育所・稲葉地子育て協議会会議，2016.4.25.

清水宣明. 名古屋市中村区エリア支援荒輪井保育所・稲葉地子育て協議会会議. 2016.6.13.

清水宣明. 名古屋市中村区エリア支援荒輪井保育所・稲葉地子育て協議会会議，2016.10.17/.

清水宣明. 三重県伊勢市東豊浜地区防災まちあるき指導者. 2016.11.4.

下園美保子：奈良県下市町健康増進計画 評価と策定に関するアドバイザー

下園美保子：奈良県下市町地域包括支援センター センター事業の評価に関するアドバイザー

下園美保子：千葉県市原市健康増進計画 評価及び策定に関するアドバイザー

田上恭子：平成28年度名古屋市臨地実習指導者講習会「メンタルヘルス」講師，2016.10.20，名古屋市立中央看護専門学校.

戸田由美子：高知女子大学看護学会誌 査読委員，2016.1.～2016.12.

牛島佳代：熊本大学学術資料調査研究推進室委員：2016年4月1日～2017年3月31日

牛島佳代：水俣病センター相思社評議委員：2016年4月1日～2017年3月31日

山田浩雅：愛知県精神医療審査会委員，2013.4～現在

山田浩雅：看護研修会講師，「看護研究」，2016.8.25，愛知県精神医療センター。

柳澤理子：日本キリスト教海外医療協力会奨学金委員，2010～現在

柳澤理子：布圧力センサを用いた車椅子用褥瘡予防支援システムの研究開発（研究代表者：名古屋大学情報科学研究科間瀬健二）アドバイザー委員。

横山加奈：感染管理認定看護師養成コース「情報管理」非常勤講師，2016.9，福岡医療福祉大学九州地区生涯教育センター。

米田雅彦：Inflammation Research の Reviewer 2012.8-現在

[海外活動]

片岡由美子：TISLR12, 及びLaTrobe大学, Deakin大学ショートプログラム調査, メルボルン, オーストラリア, 2016.1.3～9.

百瀬由美子：31th International Conference of Alzheimer's Disease International参加（ハンガリー共和国；ブダペスト），2016.4.

百瀬由美子：国際交流活動，学生の短期留学候補大学選定のための情報収集（オーストラリア；ブリスベン，メルボルン），2016.11-12.

大原良子：豪州フリンダース大学（Flinders University）客員研究員，2016.3.21～27.

岡田悦政：*Food & Function* 誌 Reviewer

岡田悦政：*Neurochemical Research* 誌 Reviewer3回

百瀬由美子，柳澤理子。国際交流に向けた海外大学視察。オーストラリア，Australian Catholic University Brisbane & Melbourne, Deakin University Worwood & Geelong. 10月29日～11月5日，2016.

[科学研究費補助金等による研究]

天木伸子（研究代表者），百瀬由美子，藤野あゆみ：介護保険施設における認知症看護の質評価指標の開発と検証。科学研究費基金（基盤研究C），1,300,000円（平成28年度），平成28～31年度。

天草百合江：保育器で過ごす子どもと母親の間の心理的距離に関する看護師評価尺度の開発。科学研究費補助金（若手研究B），500,000円（平成28年度），平成28～31年度。

馬場美幸, 小松万喜子: 看護学実習における動機づけのプロセスと看護実践能力の発達に及ぼす影響. 科学研究費補助金 (基盤研究C), 700,000円 (平成28年度), 平成28~31年度.

益加代子, 林千冬¹ (¹神戸市看護大学): インドネシア人看護師候補者の就労に関する現状把握と就労研修モデルの開発. 科学研究費補助金 (基盤研究C), 400,000円 (平成28年度), 平成26~29年度.

加藤憲司¹, 船山伸他², 福冨教隆², 金川克子¹, 鈴木志津江¹, 植本雅治¹, 松葉祥一¹, 川越栄子³, 嶋澤恭子¹, 山下正¹, 益加代子 (¹神戸市看護大学, ²神戸市外国語大学, ³神戸女学院大学): 医療通訳・コーディネーターの教育プログラムの看護大学と外国語大学による開発と検証. 科学研究費補助金 (基盤研究B), 100,000円 (平成28年度), 平成27~29年度.

林千冬¹ (研究代表者), グレグ美鈴¹, 益加代子, 花井理沙¹ (¹神戸市看護大学): 准看護師制度の現状分析にもとづく新たな看護職養成・資格制度モデルの開発. 科学研究費補助金 (基盤研究C), 30,000円 (平成28年度), 平成27~30年度.

藤野あゆみ (研究代表者), 百瀬由美子, 天木伸子: 介護老人保健施設の多職種を対象にした倫理教育プログラムの開発と縦断的評価. 科学研究費基金 (基盤研究 (C)), 800,000円 (平成28年度), 平成28~31年度.

古田加代子, 流石ゆり子¹, 輿水めぐみ² (¹山梨県立大学看護学部, ²滋賀医科大学医学部看護学科): 高齢者の転居後の生活適応とその要因に関する縦断的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究 (C)), 1,000,000円 (平成28年度), 平成25~28年度.

蘭牟田洋美¹, 山崎幸子², 古田加代子, 山田拓実¹ (¹首都大学東京人間健康科学研究科, ²文教学院大学人間学部): 介護予防から災害弱者へのパラダイム転換—効果的な閉じこもり高齢者支援を目指して—. 日本学術振興会科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究), 600,000円 (平成28年度), 平成27~29年度.

服部淳子 (研究代表者), 岡崎章¹, 柴邦代, 汲田明美, 天草百合江 (¹拓殖大学工学部): 発達障害の程度や種類に則してカスタマイズ可能なプレパレーション・ツールの開発. 科学研究費補助金 (基盤研究C), 900,000円 (平成26年度), 平成26~28年度.

平野明美: 認知症患者と介護者の音楽運動療法による生活の質を改善するプログラムの開発. 科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究), 100千円 (平成28年度), 平成26~28年度.

広瀬会里 (研究代表者), 片岡純, 生田美智子¹, 尾沼奈緒美 (¹相山女学園大学看護学部看護学科): がん患者の終末期療養先に関する意思決定支援 (アドバンス・ケア・プランニング). 科学研究費補助金 (基盤研究C), 615,275円 (平成28年度), 平成25~28年度.

石光美美子 (研究代表者): 術後せん妄症状看護の質指標の構築. 科学研究費補助金 (基盤研究C), 1,190,000円 (平成28年度), 平成26~29年度.

片岡純 (研究代表者), 岡崎章¹ (¹拓殖大学): 感性デザインに基づくカスタマイズ可能な高齢者向けパンフレットの開発. 科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究), 700,000円 (平成28年度~30年度)

佐藤まゆみ¹, 佐藤禮子², 片岡純, 森本悦子³, 阿部恭子⁴, 塩原由美子¹, 大内美穂子¹, 西脇可織 (¹千葉県保健医療大学健康科学部, ²関西国際大学保健医療学部, ³関東学院大学看護学部, ⁴千葉大学大学院): 外来通院がん患者の主体性を活かして行う実践のための外来看護師育成プログラムの洗練. 科学研究費補助金 (基盤研究B), 169,000円 (研究分担者, 平成28年度), 平成27~30年度.

水野道代¹, 片岡純, 浅野美礼¹, 麻原朋代¹, 山下美智代¹ (¹筑波大学医学医療系): ウェブサイトを用いた自己管理支援ががん体験者のQOL及び心理的安寧に与える効果. 科学研究費補助金 (基盤研究B), 65,000円 (研究分担者, 平成28年度), 平成27年~30年度.

飯島佐知子¹, 貝谷俊子², 大西麻未¹, 菅田勝也³, 岡本明美¹, 五十嵐中⁴, 福田敬⁵, 豊川智之⁴, 片岡純, 安川文朗⁶ (¹順天堂大学医療看護学部, ²札幌市立大学看護学部, ³藍野大学, ⁴東京大学大学院, ⁵国立保健医療科学院, ⁶横浜市立大学): 看護学におけるヘルス・テクノロジー・アセスメントの構築と展開. 科学研究費補助金 (基盤研究B), 390,000円 (研究分担者, 平成28年度), 平成27年~31年度.

水野道代¹, 片岡純, 浅野美礼¹, 麻原朋代¹, 山下美智代¹ (¹筑波大学医学医療系): がん患者の就労に係る自己評価ツールの活用とQOLに与える効果の検討. 学術研究助成基金助成金 (挑戦的萌芽研究), 52,000円 (研究分担者, 平成28年度), 平成27年~29年度.

工藤真由美¹, 中山洋子², 大見サキエ³, 石原昌⁴, 小松万喜子, 大平光子⁵, 真下綾子⁶ (¹岩手県立大学, ²高知県立大学大学院, ³岐阜聖徳学園大学, ⁴昭和大学, ⁵広島大学大学院, ⁶東京医療保健大学): ジェネラリストナースの実践能力の明確化と評価指標及び教育プログラムの開発. 科学研究費補助金 (基盤研究B), (連携研究者), 平成25~28年度.

丸尾亜喜代¹, 小松万喜子, 佐藤美紀 (¹岐阜大学): 不妊治療終結期の女性の意思決定支援プログラムの開発と検証. 科学研究費補助金 (基盤研究C), 120,000円 (研究分担者, 平成28年度), 平成28~31年度.

汲田明美 (研究代表者), 服部淳子, 山田浩雅, 北川好郎¹ (¹愛知医科大学): 小児慢性疾患患者の「生活力」支援プログラムの作成及び実施と評価. 科学研究費補助金 (基盤研究C), 1,300,000円 (平成28年度), 平成28~31年度.

中野隆¹, 八島妙子², 黒川景, 内藤宗和¹, 林省吾³, 鈴木里美², 小倉久美子² (¹愛知医科大学医学部, ²愛知医科大学看護学部, ³東京医科大学医学部): フィジカルアセスメントに繋がる総合的解剖学実習モデルの構築を目指して. 科学研究費補助金 (基盤研究B), 50,000円 (研究分担者, 平成28年度), 平成27~31年度.

箕浦哲嗣 (研究代表者): 婦人科受診時の内診台診察に対する羞恥測定尺度および意思提示デバイスの開発. 科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究), 900,000円 (平成28年度), 平成27~29年度.

百瀬由美子 (研究代表者), 藤野あゆみ, 天木伸子, 山崎尚美¹, 田中和奈² (¹畿央大学, ²奈良学園大学): 認知症の人と家族とともに創る認知症ケア対応力向上教育プログラムの開発. 科学研究費補助金 (基盤研究B), 2,200,000円 (平成28年度), 平成27~30年度.

山崎尚美¹, 百瀬由美子, 天木伸子, 小野幸子², 坪井桂子³, 堀口和子⁴, 南部登志江¹, 宮崎誠¹ (¹畿央大学, ²宮城大学, ³神戸市看護大学, ⁴兵庫医療大学): グループホームの終末期ケアにおける看護連携を強化するための教育支援システムの開発. 科学研究費補助金 (基盤研究C), 85,225円 (研究分担者, 平成28年度), 平成27~29年度.

田中和奈¹、百瀬由美子¹（奈良学園大学）：高齢者入居施設における疼痛管理教育プログラムの開発。科学研究費補助金（基盤研究C）、338,352円（研究分担者、平成28年度）、平成26～28年度。

中戸川早苗（研究代表者）、岩瀬信夫¹、岩崎弥生²、眞嶋朋子²（¹日本赤十字広島看護大学、²千葉大学看護学研究科）：統合失調症をもつ人の就労と生活との調和を目指した看護援助モデルの開発。科学研究費補助金（基盤研究C）、1,000,000円（平成28年度）、平成27～29年度。

西岡裕子（研究代表者）：中咽頭がん術後の摂食嚥下障害のアセスメントを導くアルゴリズムの検証。科学研究費補助金（若手研究B）、450,000円（平成28年度）、平成27～29年度。

西脇可織（研究代表者）：認知症とがんを併せ持つ患者と家族の看護に対する評価。科学研究費補助金（若手研究B）、531,000円（平成28年度）、平成28～30年度。

佐藤まゆみ¹、佐藤禮子²、片岡純、森本悦子³、阿部恭子⁴、大内美穂子¹、西脇可織（¹千葉県立保健医療大学、²関西国際大学、³関東学院大学、⁴千葉大学）：外来通院がん患者の主体性を活かして行う実践のための外来看護師育成プログラムの洗練。科学研究費補助金（基盤研究B）、50,000円（研究分担者、平成28年度）、平成27年度～平成30年度。

緒方京（研究代表者）、志村千鶴子¹、神谷摂子、下睦子（¹創価大学看護学部）：助産師教育における母乳育児支援に関する実践能力教育プログラムの開発。科学研究費補助金（基盤研究C）、130,000円（平成28年度）、平成25～29年度。

大原良子（研究代表者）、安東由佳子¹（¹長野県立大学）：自己実現理論を応用した長期固定型実習導入に向けた調査及び実習方法の構築。科学研究費補助金（挑戦的萌芽）、65,000円（平成28年度）、平成27～29年度。

岡田悦政（研究代表者）：食用植物種子は時計遺伝子発現を制御するか？ 一食による新たな疾病予防への挑戦。科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究）、390,000円（平成28年度）、平成26～28年度。

小久保康昌¹、岡本和士（¹三重地域イノベーション学研究所）：紀伊ALS/PDC診療ガイドラインの作製と臨床研究の推進班、日本医療研究開発機構研究費（難治性疾患実用化研究事業）500,000円（研究分担者、平成28年度）、平成27～29年度。

岡本和士（研究代表者）：グルコースパッチテストの職域における健康管理への利用可能性の検証を目的とした基礎疫学的研究。シスメックス、1,940,000円（平成28年度）。

岡本和士（研究代表者）：介護従事者の早期離職防止を目的とした職務継続関連要因の解明ための調査研究。CAC、2,000,000円（平成28年度）。

佐藤美紀（研究代表者）、大津廣子¹（¹鈴鹿医療科学大学）、曾田陽子、西尾亜理砂、籠玲子：看護師の腰痛予防に寄与する援助時の作業姿勢に関する研究。科学研究費補助金（基盤研究C）、100,000円（平成28年度）、平成26～29年度。

柴邦代（研究代表者）、服部淳子、汲田明美、天草百合江、岡崎章¹（¹拓殖大学）：在日外国人の子どもと保護者用「危

「険回避教育ツール」の開発. 科学研究費補助金 (基盤研究C), 1,690,000円 (平成28年度), 平成28~30年度.

清水宣明 (研究代表者), 脇坂浩¹, 西村秀一² (¹三重県立看護大学, ²国立病院機構仙台医療センター): 小学校を中心としたインフルエンザ流行対策研究モデルの確立と, その災害対策への応用. 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (一般)), 939,168円 (平成28年度), 平成26~30年度.

脇坂浩¹, 清水宣明 (研究分担者) (¹三家県立看護大学) 介護施設におけるアウトブレイクの感染制御体制・専門家教育課程の構築に関する研究. 科学研究費補助金 (基盤研究 (C) (一般)), 100,000円 (平成28年度), 平成26~30年度.

下園美保子 (研究代表者), 岸恵美子¹, 浜崎優子², 大山早紀子³, 大嶋巖⁴ (¹東邦大学, ²佛教大学, ³立教大学, ⁴日本社会事業大学): 閉じこもり高リスク者に早期介入する, 地域サロンと訪問支援の統合化プログラムの開発. 科学研究費補助金 (基盤研究費C), 1,040,000円 (平成28年度), 平成27~29年度.

岸恵美子¹, 小長谷百絵², 浜崎優子³, 吉岡幸子⁴, 斉藤雅茂⁵, 米澤純子⁶, 下園美保子, 野尻由香⁷, 望月由紀子⁷, 野村祥平⁸ (¹東邦大学, ²上智大学, ³佛教大学, ⁴埼玉県立大学, ⁵日本福祉大学, ⁶東京家政大学, ⁷帝京大学, ⁸法務省横浜保護観察所): 若年のセルフ・ネグレクトに対応するアセスメントツールと介入プログラムの開発. 科学研究費補助金 (基盤研究B), 130,000円 (研究分担者, 平成28年度), 平成28~30年.

岸恵美子¹, 森田展彰², 松山真知子³, 小宮山恵美⁴, 吉岡幸子⁵, 柴田亜希⁵, 上野公子⁶, 麻生保子⁶, 野尻由香⁶, 望月由紀子⁶, 下園美保子, (¹東邦大学, ²筑波大学, ³元筑波大学特別研究員, ⁴東京都北区役所, ⁵埼玉県立大学, ⁶帝京大学): 在宅における養護者の高齢者虐待行為に対する介入・予防プログラムの開発. 科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究), 3,770千円, 平成25~27年度

岸恵美子¹, 小長谷百絵², 浜崎優子³, 吉岡幸子⁴, 斉藤雅茂⁵, 米澤純子⁶, 麻生保子⁷, 野尻由香⁷, 望月由紀子⁷, 下園美保子, 野村祥平⁸ (¹東邦大学, ²上智大学, ³佛教大学, ⁴埼玉県立大学, ⁵日本福祉大学, ⁶東京家政大学, ⁷帝京大学, ⁸法務省横浜保護観察所): セルフ・ネグレクト高齢者への効果的な介入・支援とその評価に関する実践的研究. 科学研究費補助金 (基盤研究B), 8,580千円, 平成24~28年度.

麻生保子¹, 山岡和枝¹, 岸恵美子², 野尻由香¹, 望月由紀子¹, 下園美保子, 小長谷百絵³, 浜崎優子⁴, 吉岡幸子⁵, 野村祥平⁶ (¹帝京大学, ²東邦大学, ³上智大学, ⁴佛教大学, ⁵埼玉県立大学, ⁶法務省横浜保護観察所): 慢性的に片づけられない若年者の実態と効果的介入プログラムの開発. 科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究), 3,640千円, 平成26~28年度

大嶋巖¹, 平岡公一², 児玉桂子¹, 植村英晴¹, 源由理子³, 伊藤順一郎⁴, 菱沼幹男¹, 吉田光爾⁵, 賛川信幸¹, 大島千帆¹, 蔭山正子⁶, 下園美保子, 大山早紀子⁷ (¹日本社会事業大学, ²お茶の水女子大学, ³明治大学, ⁴独立行政法人国立精神・神経医療研究センター, ⁵昭和女子大学, ⁶大阪大学, ⁷立教大学): 実践家参加型エンパワーメント評価を活用した有効なEBP技術支援センターモデル構築. 科学研究費補助 (基盤研究A), 50,000千円, 平成27~31年度.

大山早紀子¹, 下園美保子 (研究協力者), 大嶋巖 (研究協力者)² (¹立教大学, ²日本社会事業大学): 重度精神障害者を対象とした精神科デイケアおよび訪問支援統合化プログラムの効果評価. 科学研究費補助 (若手研究B), 2,490千円, 平成27~29年.

曾田陽子（研究代表者），小松万喜子，佐藤美紀，大島弓子¹（¹豊橋創造大学）：適切な看護介入のための看護アセスメント能力強化プログラムの策定と評価。学術研究助成基金助成金（基盤研究C），1,160,000円（平成28年度），平成26～29年度。

田上恭子（研究代表者），山中亮¹（¹名古屋市立大学）：「継続する絆」における自伝的記憶の機能。科学研究費補助金（基盤研究C），1,100,000円（平成28年度），平成26～28年度。

富澤登志子¹，三上佳澄¹，漆坂真弓¹，北島麻衣子¹，田上恭子（¹弘前大学）：放射線被ばくに関連した概念分析および看護診断用語の開発。科学研究費補助金（基盤研究C），100,000円（研究分担者，平成28年度），平成26～28年度。

牛島佳代（研究代表者），成元哲¹（¹中京大学現代社会学部）：災害ストレスに脆弱な母子に対する心理社会的支援とそのためのシステム構築。科学研究費補助金（基盤研究C），212,940円（平成28年度），平成25～28年度。

成元哲¹，牛島佳代，松谷満¹（¹中京大学現代社会学部），ほか10名：原発事故後の親子の生活・健康変化の実態解明と社会的亀裂修復に向けた介入研究。科学研究費補助金（基盤研究A），503,927円（研究分担者，平成28年度），平成27～30年度。

家田修¹，大島堅一²，高倉浩樹³，牛島佳代（¹北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター，²立命館大学国際関係学部，³東北大学東北アジア研究センター），ほか12名：被災者参画による原子力災害研究と市民復興モデルの構築：チェルノブイリから福島へ。科学研究費補助金（基盤研究A），200,000円（研究分担者，平成28年度），平成27～29年度。

宇城 令（研究代表者），長谷川剛¹，浅田義和²，高山詩穂³，市田 勝²，鈴木義彦²，河野龍太郎²（¹上尾市民病院，²自治医科大学，³聖徳大学）：レジリエンス・エンジニアリングによる新たな医療安全文化を醸成するシステムの開発。科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究），780,000円（平成28年度），平成26～28年度。

柳澤理子（研究代表者），坂本真理子¹，橋本秀実²（¹愛知医科大学，²同志社女子大学）：タイ農村の特別な保健医療ニーズをもつ児（CSHCN）の養育者のunmet needs。科学研究費補助金（基盤研究C），155,118円（平成28年度），平成25～28年度。

柳澤理子（研究代表者），横山加奈，杉山希美，岡本和土。国保データベースを活用した若年糖尿病予備群の要因分析と保健指導ガイドライン作成。科学研究費補助金（基盤研究C），900,000円（平成28年度），平成28～31年度。

榎堀優¹，間瀬健二¹，原沢優子²，柳澤理子，小松万喜子（¹名古屋大学情報科学研究科，²名古屋市立大学）：布センサで構成した体圧計測ウェアを用いた離床時褥瘡予防ケア支援。科学研究費補助金（基盤研究B），200,000円（研究分担者，平成28年度），平成27～29年度。

橋本秀実¹，柳澤理子，田代麻里江²，水谷聖子³（¹同志社女子大学，²梅花女子大学，³日本福祉大学）：日本人留学生の海外における性行動とその関連要因に関する研究。科学研究費補助金（基盤研究C），45,000円（研究分担者，平成28年度），平成28～31年度。

浅野いずみ¹，柳澤理子（¹愛知医科大学）：発達障害を疑われた外国人未就学児と親のための療育支援モデルの検討。科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究），30,000円（研究分担者，平成28年度），平成28～30年度。

松本尚子¹、米田雅彦¹（¹豊橋創造大学・保健医療学部）：褥瘡の治癒過程時期を看護師が正確に判断できる指標の同定と臨床的有用性の実証研究。文部科学省科学研究費（基盤研究C），800,000円（研究分担者，平成28年度），平成26年度～28年度。

小島徳子¹、米田雅彦、根本哲哉²、田辺圭子¹（¹愛知医科大学・看護学部，²国立長寿医療研究センター・長寿医療工学研究部）：NICU入院中の新生児を持つ褥婦への足湯が乳頭・乳輪の粘弾性に及ぼす影響。文部科学省科学研究費（基盤研究C），100,000円（研究分担者，平成28年度），平成27年度～31年度。

〔地域連携センター関連公開講座・セミナー等〕

古田加代子：平成28年度看護実践センター看護研究スキルアップ講座「看護研究における文献検」。2016.5.27，愛知県立大学看護学部。

古田加代子：平成27年度看護実践センター 個別研究指導者，2016.9～2017.3。愛知県立大学看護学部。

広瀬会里：平成28年度愛知県立大学看護実践センター看護研究個別指導者，2016.9～2017.3。愛知県立大学看護学部。

広瀬会里：愛知県看護協会脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程，専門基礎科目講義「脳卒中患者・家族の理解」。愛知県看護協会，平成28年5月。

神谷摂子：平成28年度 愛知県立大学看護実践センター 看護研究個別指導者，2016.9～2017.3。愛知県立大学看護学部。

片岡純：看護実践センターセミナー看護研究スキルアップ講座「質的研究入門」。2016.6.29。愛知県立大学看護学部。

小松万喜子：愛知県立大学看護実践センター「看護研究スキルアップ講座：臨床看護研究における倫理と手続き」。2016.5.27，愛知県立大学守山キャンパス。

箕浦哲嗣：愛知県立大学看護実践センター，「看護研究のための質問紙調査・統計入門」講師，2016.6，愛知県立大学守山キャンパス。

箕浦哲嗣：愛知県立大学看護実践センター，「統計分析を理解するためのハンズオンセミナー」講師，2016.10，愛知県立大学守山キャンパス。

西脇可織：平成28年度 愛知県立大学看護実践センター 看護研究個別指導者，2016.9～2017.3。愛知県立大学看護学部。

曾田陽子：平成28年度愛知県立大学看護実践センター看護研究個別指導者，2016.9～2017.3。愛知県立大学看護学部。

田上恭子：平成28年度愛知県立大学看護実践センター 「生活習慣改善を促す援助への認知行動アプローチの適用」

セミナー 講師, 2016.11.10, 愛知県立大学看護学部.

山田浩雅:平成26年度 愛知県立大学看護実践センター 看護研究個別指導者, 2016.9~2015.3. 愛知県立大学看護学部.

[その他の活動]

石光芙美子:「閾値下せん妄」の理解が, せん妄予防ケアの構築を可能に. 週刊医学界新聞 (看護号), 第3196号, 2016.

大原良子:オープンキャンパス 模擬授業「看護で世界に羽ばたこう」2016.8.9.